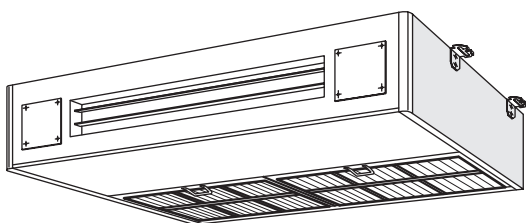


パッケージエアコン
厨房用エアコン

《セパレート形》

天井吊形



室内ユニット

冷媒R32/R410A対応シリーズ

FHTP80DC FHTP80DD
FHTP140DC FHTP140DD

- このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになったあと、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニットおよびリモコンの取扱説明書とあわせて参照してください。
保証書はお買い上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

ご使用前に		使用の前に
安全について		
必ず守ってください……………	1	
ご使用前に		使用の前に
必ずお読みください……………	2	
各部の名前と働き……………	2	

運転について		運転について
運転の特性……………	3	
複数台同時運転の場合……………	4	
上手な使いかた……………	4	

お手入れについて		お手入れについて
お手入れのしかた		
日常のお手入れ……………	5	
シーズン初め・終わりのお手入れ……………	7	

知っておいてください		知っておいてください
調子がおかしいときは……………	8	
別売品について……………	11	
製品の種類と運転音……………	12	
アフターサービスと保証について……………	13	
お客様ご相談窓口……………	裏表紙	

ご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	 注意 誤った取扱いにより、軽傷を負う可能性または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。
---	---

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

 絶対にしないでください。	 絶対にぬれた手で触れないでください。	 絶対に水にぬらさないでください。	 必ず指示どおりに行ってください。
---	--	--	--

警告 使用上の注意事項

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



禁止

●異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



注意 使用上の注意事項

●ぬれた手で操作しない
感電の原因になることがあります。



ぬれ手禁止

●エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

●エアフィルターや吸込グリルを確実に取り付ける
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



●お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



●高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は、当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



禁止

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

据付場所について

- 室外ユニットはまわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか?
- 次のような場所では使用しないでください。
 - 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
 - 調理場などで、油・粉・水蒸気などが直接当たるところ
 - 海浜地区など塩分の多いところ
 - 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
 - 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
 - 工場など電圧変動の多いところ
 - 車両・船舶への搭載など
 - 電磁波を発生する機械のあるところ
- 室外ユニットは防雪対策されていますか?
防雪フードなど、詳細はお買い上げの販売店へご相談ください。

ドレン配管の排水について

- ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか?
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、ドレン配管内でごみ・ホコリなどが詰り、室内ユニットから水が漏れる原因になることがあります。
運転を停止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

運転音にもご配慮を

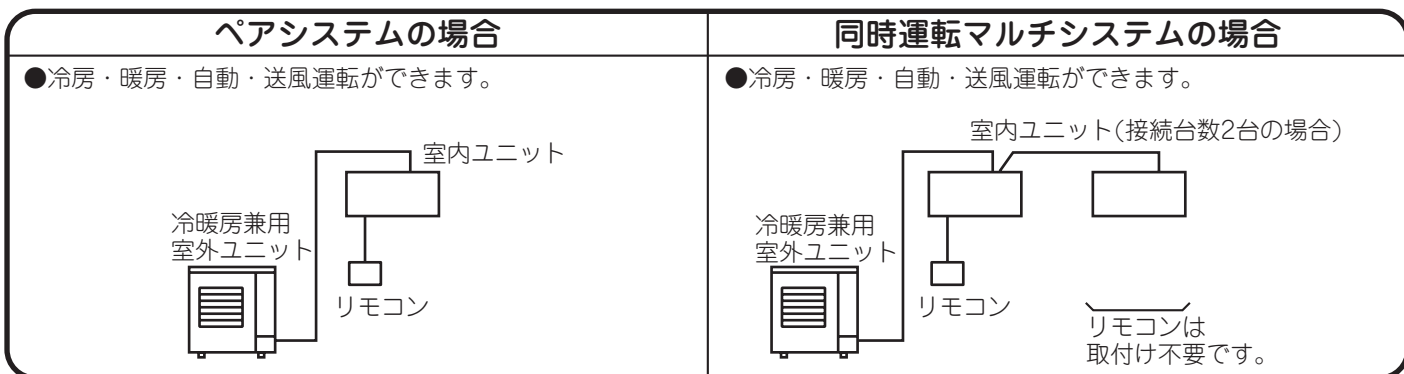
- 次のような場所を選んでいませんか?
 - エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
 - 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ
- 室外ユニットの吹出口近くに障害物はありませんか?
風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。
- 使用中に異常音がする場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

電気工事について

- 電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。
- 室外ユニットはエアコン専用の回路をご使用ですか?
- 電源配線が破損した場合、交換には資格が必要です。配線の交換は危険を防止するため、お買い上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

同時運転マルチシステムの説明

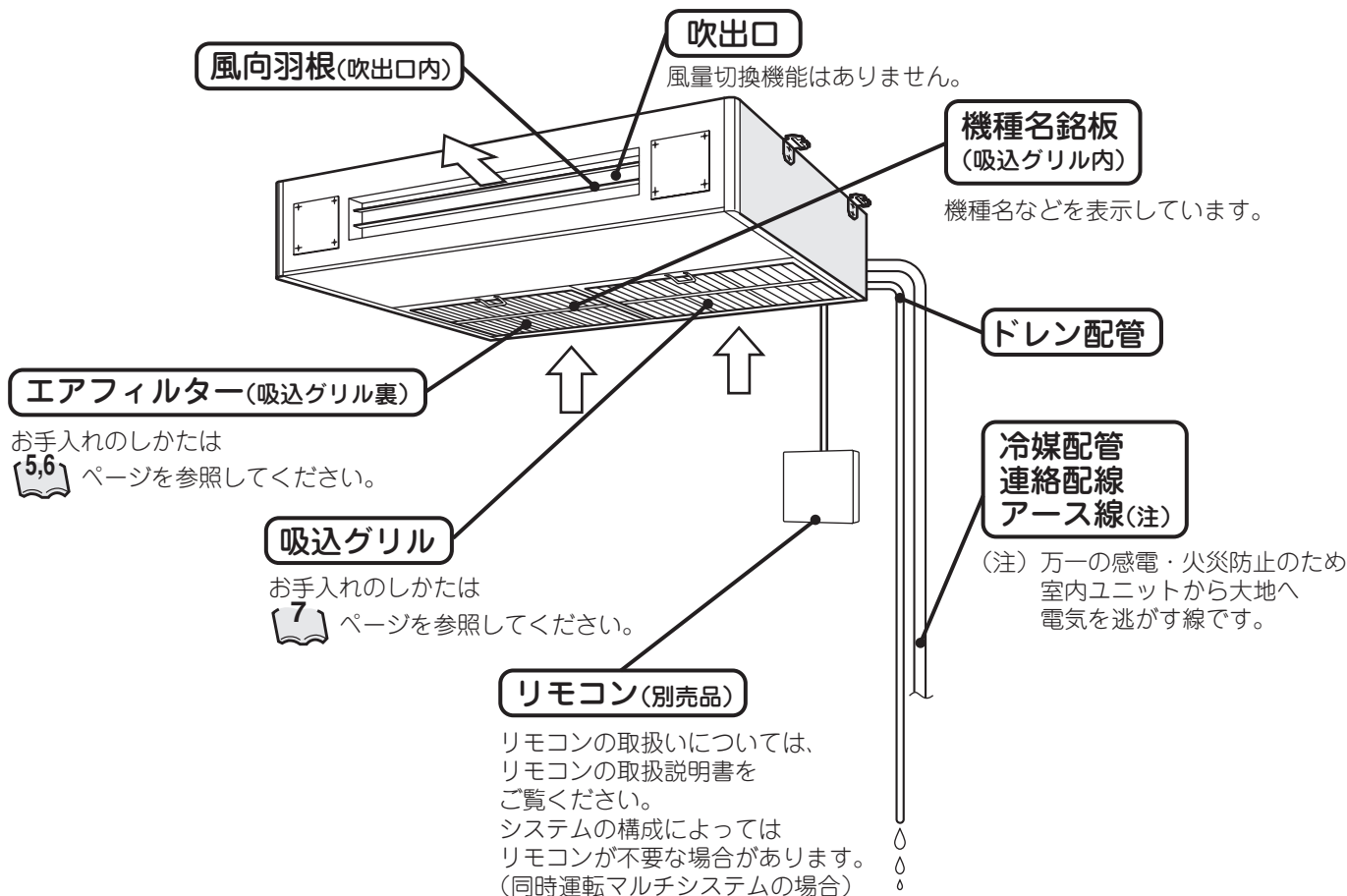
本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買い上げの販売店にご確認ください。



- お願い**
- 運転操作についてはリモコンの取扱説明書をご覧ください。
また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットの取扱説明書をご覧ください。
 - 同時運転マルチシステムの接続可能な台数については、お買い上げの販売店にご確認ください。

ご使用前に

各部の名前と働き



冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について



- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転をします。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、時間がかかります。室内ユニット内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転をします。そのときリモコンには「除霜／ホットスタート」が表示されます。

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるため除霜運転に自動で切り換わりします。
- 温風が止まり、リモコンに「除霜／ホットスタート」が表示されます。
- 約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。( ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」・「シュー」音などがするときがあります。( ページ参照)

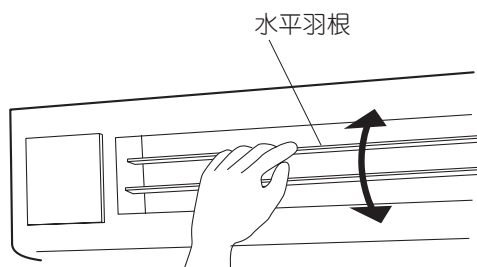
外気温度と暖房能力について

- 外気温度が下がるにつれて暖房能力は低下します。このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。(燃烧器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
- 室内ユニットの風が直接当たるところで燃烧器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環ファン)のご使用をおすすめします。詳細はお買い上げの販売店にご相談ください。

風向調節のしかた

上下風向角度の調節のしかた

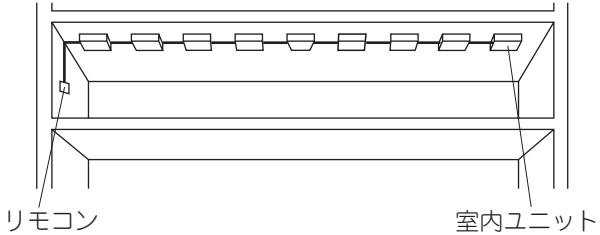
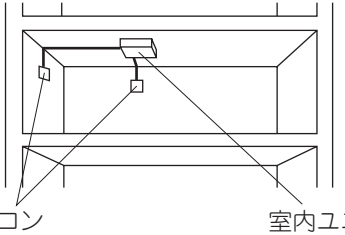
吹出口内部の水平羽根を上下に調節してください。



- お願い**
- 冷房運転時に下向きにしますと(約20°以上)、吹出口付近に露が付き、滴下することがあります。この場合、水平に吹き出るようにしてください。
 - 冷温風が火気や調理台に直接当たり、調理に影響するようときには風向をかえてください。

複数台同時運転の場合

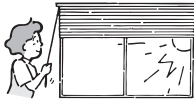
複数台の室内ユニットを同時に運転できるシステムになっている場合

1つのリモコンでグループ制御	2リモコン制御
<ul style="list-style-type: none"> ●1つのリモコンで最大16台まで運転操作できます。 ●各室内ユニットはそれぞれの吸込温度センサーでリモコンの設定温度に個別制御します。  <p>リモコン 室内ユニット</p>	<p>2つのリモコンから1台(グループ制御の場合は1グループ)の室内ユニットを運転操作できます。</p>  <p>リモコン 室内ユニット</p>

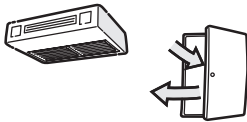
- お願い**
- グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定については、必ずお買い上げの販売店にご確認ください。
 - グループ制御・2リモコン制御についての組合わせや設定を変更される場合はご自分でなさらずに、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

上手な使いかた

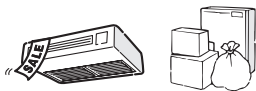
- 冷房中は直射日光を入れるのはやめましょう
窓にはカーテンかブラインドをつけてください。



- ドアや窓を開けたままにするのはやめましょう
運転効率が悪くなります。



- 吹出口・吸込口の近くにものを置くのはやめましょう
能力が低下、または運転が停止することがあります。



- 冷やし過ぎ・暖め過ぎに注意しましょう
電気のムダ使いになります。



- エアフィルターはこまめに交換しましょう
汚れたまま運転すると能力の低下・水漏れ、または故障の原因になることがあります。

5,6 ページ参照



- テレビ・ラジオ・ステレオなどは室内ユニットやリモコンから1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入る場合があります。



- 長時間使用しないときは電源ブレーカーを遮断しましょう

電源ブレーカーが入っていると、数ワット～数十ワットの電力(※1)を消費するためです。ただし、機械保護のため、再運転するときは必ず6時間以上前に電源を入れてください。(※2)



(※1) 停止中の消費電力は、室外ユニットの機種により異なります。

(※2) 設定は、電源ブレーカーを遮断する前の状態を記憶しています。

(タイマー設定は消去されます。)

- 風向調節を上手に使いましょう

冷たい空気は下に、暖かい空気は上にたまります。風向は、冷房時は水平に、暖房時は下向きにして、体に直接当たないようにしてください。



- タイマー運転を有効に使いましょう

室内温度が設定温度になるまで時間がかかります。タイマー運転を活用し、事前に運転を開始してください。



お手入れのしかた

警告

- 可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。



注意

- エアコンを水洗いしない
漏電によって感電や火災の原因になることがあります。



水ぬれ禁止

- お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーを遮断する
電源を遮断しないと、感電やけがの原因になることがあります。



- エアフィルターや吸込グリルを確実に取り付ける
エアフィルター・吸込グリルの落下の原因になることがあります。



- 高所作業をするときは足場に気をつける
足場が不安定な場合、落下・転倒によりけがの原因になることがあります。



お願い

- 清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障の原因になることがあります。
- 吸込口に正規のエアフィルター以外のもの(キッチンペーパーなど)を取り付けしないでください。性能が低下し、凍結・水漏れの原因になることがあります。

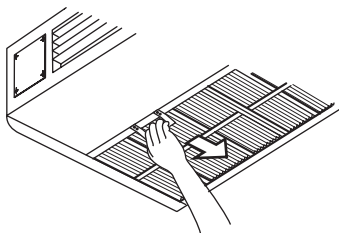
日常のお手入れ

エアフィルターの交換のしかた①

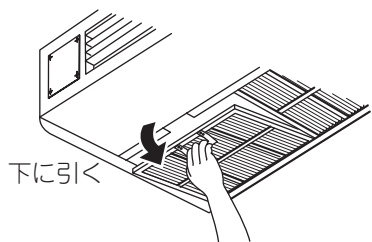
- 交換時期は、厨房室の状況により、大きく異なりますが、およそ3ヵ月です。
油滴が滴下する前に、または、目詰りを起こす前に早目に交換されることをおすすめいたします。

1. 吸込グリルを外します。

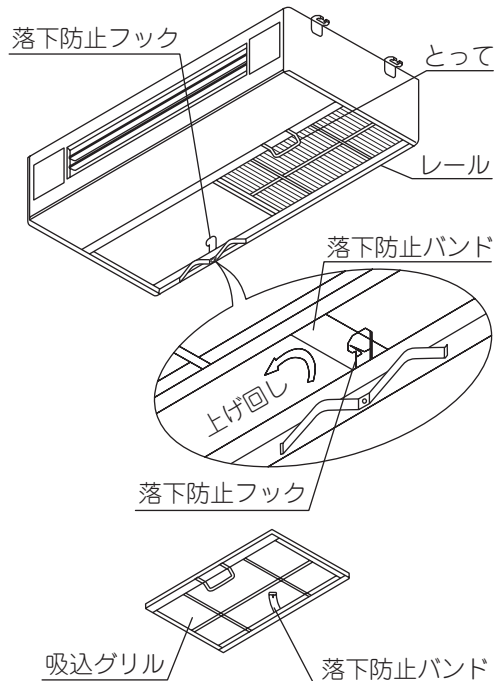
- ①吸込グリルのとつてを持ち、少し背面側に押ししてください。



- ②そのまま下に引き、吸込グリルをレールからゆっくり下に引いて外してください。



- ③背面の落下防止バンドをフックから外して吸込グリルを降ろしてください。

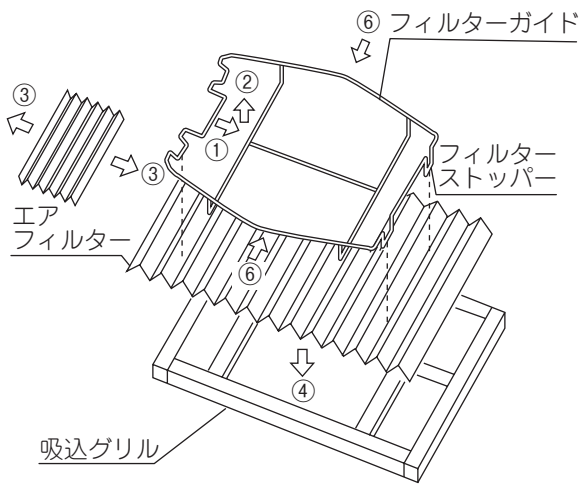


(次のページにつづきます。)

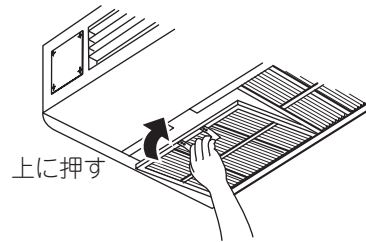
エアフィルターの交換のしかた②

2. フィルターを交換します。

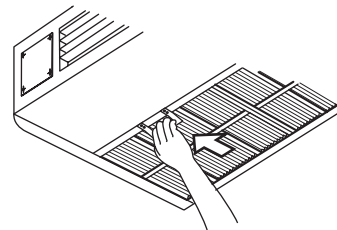
- ① フィルターガイドを図のように引いてください。
- ② そのまま持ち上げ、フィルターガイドを外して、汚れたフィルターを捨ててください。
- ③ 新しいフィルターを両手で広げてください。
- ④ 吸込グリルに新しいフィルターをのせて、グリル内に押し込んでください。
- ⑤ フィルター2山程度の所に、フィルターガイドのフィルターストッパーを入れて吸込グリルに挿入してください。
- ⑥ フィルターガイドの両端のたわみ部分を、吸込グリル枠に入れてください。



- ② 吸込グリルをレールに取り付け、ゆっくり上に押ししてください。



- ③ 吸込グリルのとつてを持ち、吹出口側に押ししてください。吸込グリルが確実に固定されていることを確認してください。

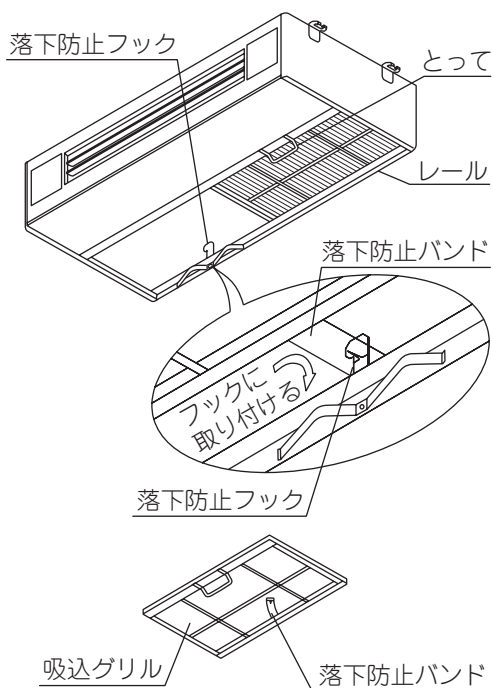


注意

吸込グリルを取り付ける際は、必ず落下防止バンドをフックにかけてからグリルをはめ込んでください。フックにかかってないとグリルが落下しケガや故障の原因になることがあります。

3. 吸込グリルを取り付けます。

- ① 吸込グリル背面の落下防止バンドを取り付けてください。



吸込グリル・吹出口・外装・リモコンの清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れが取れないときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞り汚れをふき取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。

お願い

- ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。
- 50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。


シーズン初め・終わりのお手入れ

シーズン初め

確認してください。

- 室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？
障害物がある場合は取り除いてください。
障害物は風量低下による機能低下や運転音増大・機器の故障の原因になることがあります。

エアフィルター交換と、外装を清掃してください。

- エアフィルターは交換後、必ず元の位置に戻してください。
(エアフィルター交換と、外装の清掃のしかたは  ページ参照)
- エアフィルターと吸込グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。
- 交換後は、電源を入れてリモコンのメインメニューよりフィルターサインリセットを実行してください。

6時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

- 機械保護のためと、始動を円滑にするためです。
- 電源ブレーカーを入れると、リモコン表示部に文字が表示されます。

電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

- 機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。
電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。
上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONするごとに行います。
暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

シーズン終わり


晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。

電源ブレーカーを遮断してください。

- 電源ブレーカーが入っているときは、数ワット～数十ワットの電力を消費します。
節電のためにも電源を遮断してください。
- 電源ブレーカーが遮断されると、リモコン表示部の文字が消えます。

エアフィルター交換と、外装を清掃してください。

- エアフィルターは交換後、必ず元の位置に戻してください。
(エアフィルター交換と、外装の清掃のしかたは  ページ参照)
- エアフィルターと吸込グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。

お願い

- 室内ユニットを数シーズンご使用になると内部の熱交換器やドレンパンが汚れ、性能低下や水漏れなどの原因になります。内部清掃には専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

次の場合は、故障ではありません。

●電源ブレーカー投入後、6時間以内の暖房運転について

機種シリーズによっては、機器保護のため下記運転動作を行う場合があります。

電源ブレーカー投入後、6時間以内に暖房運転をした場合、機器保護のために室内ファンは約10分間停止後に運転します。

上記運転は据付時のみでなく、電源ブレーカーをOFF/ONすることに行います。

暖房運転をスムーズに開始するために、暖房シーズン中は電源ブレーカーを遮断しないことをおすすめします。

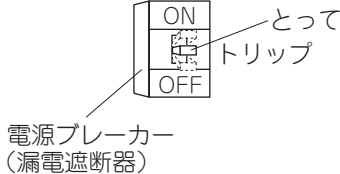


	症状	原因	確認内容
運転しない	停止後、すぐに運転したとき	機械に無理がかからないようにコントロールしているためです。	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。 3分後に運転を自動で開始します。
	温度調節を行って、すぐ元の設定に戻したとき		リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。
	操作ボタンを押すとリモコンに「集中管理中このリモコンからは操作できません」または「集中管理されています。このリモコンからは操作できません。」と表示されたとき	集中機器により、コントロールされているためです。	そのリモコンで操作できないことを示します。
	電源ブレーカーを入れ6時間以内に暖房運転をしたとき	機器保護のためです。 (本ページ上参照)	約10分間停止後に室内ファンは運転します。 (6時間以上前に電源ブレーカーを)入れてください。
	室外ユニットが停止	室内温度が設定温度に達しているためです。 室内ユニットは送風運転を続けます。	〈冷房運転時〉 設定温度を下げてください。 〈暖房運転時〉 設定温度を上げてください。 しばらくして運転開始すれば正常です。
	リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示され、風が止まる	室外ユニットに霜が着くと暖房能力が下がるので、除霜運転を自動でしているためです。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
ときどき止まる	リモコンに「U4」・「U5」が表示され、停止するが数分で運転を再開する	室内ユニット以外の機器からの電気雑音(ノイズ)によりユニット間の通信が遮断されて停止しているためです。	電気雑音(ノイズ)がなくなると運転を自動で再開します。
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき(油分やホコリの多い場所)	室内ユニット内部の汚れがひどい場合に、温度ムラが生じるためです。(※1)	使用環境を確認してください。
	除霜運転中および除霜運転終了後の暖房運転に切り換わったとき	霜が溶け、湯気となって出てくるためです。	リモコンに「除霜/ホットスタート」の表示が出ていれば除霜運転中です。
音が出る	冷房時や除霜時の「シュー」というかすかな連続音や除霜時の「チュルチュル」という音	エアコン内部にガス(冷媒)が流れている音です。	—
	運転開始・停止直後、除霜開始・停止直後の「シュー」という音	ガス(冷媒)の流れが止まる音または流れが変わる音です。 暖房運転時は自動で除霜運転に切り換わりリモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。	約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
	運転中や停止後の「シャー」「ジュルジュル」というかすかな連続音	ドレン排出装置が作動している音です。(※2)	—
	運転中と運転停止後の「ピシピシ」というキシミ音	樹脂部品が温度変化により伸縮するためです。	—
ホコリが出る	長時間運転停止したあと、ふたたび運転を始めるとき	室内ユニット内部に付着したホコリが吹き出るためです。	—
においが出る	運転中	部屋のにおい・たばこのにおいなどが室内ユニット内部で吸着されて吹き出すためです。	においが気になる場合、室内温度が設定温度に達したときの風量を風量なしに設定できます。 詳細はお買い上げの販売店にご連絡ください。


●冷房運転の特性・暖房運転の特性( ページ)をご覧ください。

(※1) 室内ユニットの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買い上げの販売店にご依頼ください。

(※2) 冷房運転中に取り除かれた室内の水分を排出します。

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく 運転しない	電源ブレーカーが遮断されていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ●電源ブレーカーのところがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのところがトリップ位置の場合は、電源を入れないでお買い上げの販売店にご連絡ください。 
	停電ではありませんか？	停電復帰後、再運転してください。
運転するが すぐに止まる	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを交換してください。 エアフィルターが目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 ( ページ参照)
よく冷えない、 よく暖まらない	室内・室外ユニットの吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	障害物を取り除いてください。 障害物がある場合、風量低下や吹き出した風を吸い込み、能力低下や機器の故障の原因になることがあります。 電気のムダ使いにもなり、機器が停止する原因になることがあります。
	エアフィルターが目詰りしていませんか？	エアフィルターを交換してください。 エアフィルターが目詰りは風の流れを悪くし、冷房や暖房能力が低下し電気のムダ使いになります。また、吹出口などに結露する原因になることがあります。 ( ページ参照)
	設定温度は適正ですか？	適正な温度・吹出風向に設定してください。
	風の吹出方向は適正ですか？	
	窓や扉が開いていませんか？	窓や扉をしっかり閉めてください。
	換気扇を運転されていませんか？	—
	〔冷房時〕 直射日光が入っていませんか？	窓にカーテン・ブラインドをつけてください。
	〔冷房時〕 在室人員が多すぎませんか？	—
〔冷房時〕 室内に熱源(OA機器など)が多すぎませんか？	—	
運転/停止ボタン を押さないのに 運転・停止した	入切タイマー運転をしていませんか？	有効/無効設定で 無効 にしてください。 (リモコンの取扱説明書をご覧ください。)
	遠方制御機器を接続されていませんか？	停止を指示した集中管理室などへ連絡・確認をしてください。
	集中管理中の表示が点灯していませんか？	
	停電自動復帰を設定していませんか？	運転/停止ボタンを押して停止してください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理なさらず、お買い上げの販売店にご相談ください。このとき、症状と機種名(保証書または吸込グリル内の室内ユニット機種名銘板( ページ参照)に記載)をお知らせください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

 **警告**

- 異常時(焦げ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーを遮断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご連絡ください。



症状	次の処置をしてから連絡を
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電遮断器などの安全装置が作動する。	電源を遮断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源を遮断してください。
エアコンから水が漏れる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご購入のときには弊社純正品をご指定ください。詳細はお買い上げの販売店にお問合わせください。

警告

- 別売品の取付けは、自分でしない(交換用別売品は除きます)
別売品は当社指定以外のものは使用しない

取付けに不備があると、故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)



交換用別売品

- 交換用ロングライフフィルター …… フィルターは汚れたら交換する使い捨てタイプで、寿命は一般的な厨房で約3ヵ月です。
約1年分(8枚)のフィルターをセットした交換用フィルターです。

機種	交換用エアフィルターキット
FHTP80形	KAFJ435A80
FHTP140形	KAFJ435A140

項目		機種	
		FHTP80形	FHTP140形
種類	機能	冷暖房兼用形	
	ユニット構成	分離形	
	凝縮器の冷却方式	空冷式	
	送風方式	直接吹出形	
類	定格冷房標準能力(kW)	7.1	12.5
	定格暖房標準能力(kW)	8.0	14.0
音響パワーレベル (dB)	室内ユニット	54	66

- (注)
- 音響パワーレベルはJIS B 8616：2015に準拠した値です。
 - この値は製品改良のため予告なく変更することがあります。
 - 能力はJIS B 8616：2015に定める試験条件のもとの値です。

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

警告

●分解や改造・修理をしない

故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●移動・再設置は、自分でしない

据付けに不備があると、
故障や水漏れ・感電・火災の原因になります。
お買い上げの販売店にご依頼ください。



禁止

●冷媒が漏れたら火気厳禁

室内ユニットに使用されている冷媒は安全で、通常漏れることはありませんが、
万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買い上げの販売店にご連絡ください。
冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。



禁止

フロンについて

本機に使用される冷媒種、およびGWP(地球温暖化係数)は
下表になります。

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675
HFC	R410A	2090

本機が接続されているシステムの冷媒種は、室外ユニットに
表示されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄する場合には
フロン類の回収が必要です。



この表示はエアコンに温暖化ガス
(フロン類)が封入されていることを、
ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは 次のことをお知らせください。

- 機種名
 - 製造番号と据付年月日
 - 故障状況 — できるだけ詳しく
(リモコンの表示内容もお知らせください。)
 - ご住所・お名前・お電話番号
- 保証書に記載して
あります。

■無料修理保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、この室内ユニットの補修用性能部品の製造打ち切り後10年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ

室内ユニットを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水漏れの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について

[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表1は次の使用条件が前提となります。

- ①頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ②製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。

●表1. 「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	バルブ(電磁弁・四方弁など)	1年	20,000時間
電動機 (ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など)		20,000時間	センサー (サーミスタ・圧力センサーなど)		5年
プリント基板類		25,000時間	ドレンパン(※)		8年
熱交換器		5年	リモコンおよびスイッチ類		25,000時間
電子膨張弁		20,000時間	ファン		室外:10年、室内:13年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。

また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると短縮する必要があります。

※建築物衛生法(旧ビル管理法)の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1年	10年
クランクケースヒーター		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

注3. 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)がきびしくなると消耗期間が短くなる場合があります。

詳細は、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■移設および廃棄などについて

転居などでエアコンを移動・再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

この製品は「フロン排出抑制法」に定める「第一種特定製品」です。

●この製品を廃棄またはリサイクル(部品や材料の再利用)する場合には「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。

●この製品を移動・再設置する場合で、冷媒回収が必要なときは「フロン排出抑制法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊が義務付けられています。

いずれの場合も、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご相談ください。

●製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

●この製品には保証書がついています。保証書は、お買い上げの販売店で所定事項を記入してお渡します。記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店またはコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問い合わせは下記の **ご購入店** へご連絡ください。

ご購入店名 _____ TEL _____ 据付年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

コンタクトセンター (お客様総合窓口)

非通知設定の方は、最初に **186** をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

 **0120-88-1081** (全国共通フリーダイヤル)

FAXでのお問い合わせは **0120-07-0881** (FAX専用フリーダイヤル)

<http://www.daikincc.com> (ご相談対応ホームページ)

営業時間：24時間365日対応いたします。

対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問い合わせをお受けいたします。
(修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など)

1205

ダイキン工業株式会社

本社 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P388649-6E

M15A043B <1802> 